

# 列島いんふおめーしょん

## 列島 information

### 1月号の主な話題&ふるさとだより

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 秋 田 ブランド枝豆・大豆が初輸出！  | 石 川 大吟醸の酒粕使ったクッキー    |
| 福 島 部品メーカーのパン屋さん開店  | 三 重 国内最大級のレタス工場稼働    |
| 群 馬 車が駐車場に自動出入庫の実験  | 奈 良 京奈和道の P Aに古風な販売所 |
| 神奈川 住友重機が浦賀奉行所跡を寄贈  | 広 島 ナンバープレートに「カーブ坊や」 |
| 新 潟 「忠臣蔵」のヒーローが里帰り  | 愛 媛 橋梁の点検にドローンを活用    |
| 山 梨 「赤ワインの聖地」の拠点完成  | 佐 賀 佐賀大が全国初のタブレット入試  |
| 岐 阜 ローソンが高校生とパンを開発  | 長 崎 ユーグレナ、航空会社と資本提携  |
| 愛 知 ウミガメ回遊水槽がリニューアル | 沖 繩 新ビーチリゾートの名称決定    |



## 北海道

## 青森

## 半世紀ぶり復活のマリモツアーア

## スマホ片手に寺山修司観光企画

**釧路市** 11月21日、「マリモの保護と活用に関するプロジェクトチーム（ＰＴ）」の第3回会合が開催された。

半世紀ほど中止されていた市内・阿寒湖での天然マリモ生息地ツアーが2018年度から試験的ながら再開することを決定。

国の特別天然記念物・マリモの保護と、観光資源としての利用の両立を目指すもので、PT事務局の環境省釧路自然環境事務所と同市教育委員会が基本方針案を作成、地元がツアーリストを主催する、いわば官民一体型だ。

主要な生息地である同湖チュウルイ湾周辺でガイドツアーを実施する模様で、目下「陸路」「水路+陸路」「水路メイン」の3コースを想定

当座はマリモへの接触を禁止、湖岸からの觀察に留める。ツアーリストは有料で1日10人に限定、2年間の「助走期間」を経て、環境への影響などを考慮した後、2020年度からの本格実施に期待。

## 岩手

## 世界一の防波堤復旧工事を公開

釜石市 「3・11」の大津波で破壊された釜石港入口にある巨大防波堤の復旧工事の模様が公開。国交省が2012年2月から着手、2018年3月の完成予定で、全長は港湾の開口部を含め約2km。整備費は約

650億円。

リアス海岸にある同港は水深が深い「天然の良港」として名高いため、防波堤も最大水深63mの地点に設置されていることから、震災前はギネスブックに「最大水深が世界一の防波堤」として認定。完成後は水面上に高さ6mの突堤が出現。

## 秋田

## ブランド枝豆・大豆が初輸出!

**秋田県** 2016年に大館市、北秋田市、小坂町、上小阿仁村の県北

スマートフォンやタブレットに専用のゲームアプリをインストールした上で、三沢駅周辺や中心市街地、寺山修司記念館の3エリアを周り、謎を解き明かすというもの。参加は無料で、2018年2月末まで。



枝豆・大豆ブランド「HAPPY NATURAL FARM」  
製品の出発式(秋田犬ツーリズム)

ンディング化の一環として地元産枝豆・大豆ブランド「HAPPY NATURAL FARM」を推進して

来たが、このほど、これらで作った朝採れ枝豆のフリーズドライ、「枝豆の甘酒」、「大豆のマヨ」(ドレッシング)の3品の受注を豪州から獲得。11月16日、出発式が開かれた。もちろん対外輸出は初。すでにシンガポールや米国とも商談も成立しているという。

## 山形

## スペインの市と「支倉都市同盟」?

**米沢市** 11月24日、スペイン・コリア・デル・リオ市のモデスト・ゴンサレス・マルケス市長が中川勝・米沢市長を表敬訪問した際、「支倉(はせくら)都市同盟」の締結を提案、中川市長も前向きに検討と応じたことから実現の可能性も。「日本・スペイン文化交流フェスティバル」の1コマで、17世紀初め伊達正宗の家臣で、米沢生まれの支倉常長など慶長遣欧使節団は、メキシコ、スペインなどを訪問、コリア・デル・リオにも寄港。帰国できなかつた使節団の何名かは同市に定住、このため

か、同市には今でも「ハポン」を名乗る「子孫」が数多いという。

## 宮城

### 震災復興応援の「第3のビール」

**東松島市** 11月21日、アサヒビール（本社・墨田区。平野伸一社長）

は、「3・11」復興を支援する第3のビール「クリアアサヒ」とれたての贅沢（ぜいたく）を東北限定での販売（ぜいたく）

支援を行なう一般社団法人「東松島みらい機構」（本部・同市。大滝精一理事長）が東北大大学院経済学研究科教授）に社員を派遣、津波で壊滅した同市の元運動公園の敷地を大麦畑（約1・5ha）に「变身」。収穫した「希望の大麦」を原料に、本ツブは山形県産の初摘み、製造は福島県内と東北にこだわる。なお、1円／1本（売上）が復興支援に。



「クリアアサヒ とれたての贅沢（ぜいたく）」（アサヒビール）

## 福島

### 部品メーカーのパン屋さん開店

**郡山市** 11月16日、電子機器基板関連メーカーの向山製作所（本社・大玉村。織田金也代表取締役）は、同市にパン屋をプレオープン。既存

の店舗「カフエ郡山表参道本店」を増床しその一角に設けたもので、価格は100～400円台、食パンや菓子パンなどを一部店舗で焼き上げ販売。同社は多角化の一環で2008年食品分野に参入、「向山製作所の生キヤラメル」と銘打ち、6種類を製造。今回のパン屋事業は福島の食の安全をアピールする狙いもある。

## 栃木

### ジャガード潜む湿地帯を再現！

**那須町** 11月20日、那須どうぶつ王国（運営母体・那須高原リゾート開発。本社・同町。佐藤哲也社長）

は、開園20周年にちなみ、新施設「ウエットランド」（仮称）を2018年3月17日オープンすると発表。広さ約900m<sup>2</sup>の完全屋内施設で、世界の湿地帯を再現したのがウリ。高

業（本社・兵庫県宝塚市。五十川龍之社長）と共に、スマホを使って立体式駐車場から車を自動で出し入れする大掛かりな実証実験を開始。

立体式を始めとした機械式駐車設備をベースに自動運転システムとの連動・相性や安全性を検証するのが主眼。具体的には、既存の各種自動

運転機能を使った駐車確認実験を皮切りに、高精度の人検知システムの構築。さらには完全自動運転、手動運転、これらの混載に対応する設備の構想提案などに挑む。期間は2017年12月～2020年9月の約3年。

## 茨城

### 駅直結の図書館がオープン

**土浦市** 11月27日、同市のJR土浦駅に直結した複合施設「アルカス土浦」内に市立図書館が完成。旧図書館の移設事業で、総事業費約77億円、蔵書は1・6倍の約56万冊、閲覧席も5倍の560席と旧来より大幅拡大。駅と連絡する2階には文庫雑誌、児童書、3階には「研究個室」、4階は自由度の高い部屋を設置。なお、12月からは予約制の無料託児（週1回）のサービスも開始。

## 千葉

### 津波に強い九十九里道路が全通

**千葉県** 11月30日、同県は県の道路公社が運営する九十九里有料道路（全長約17・2km）を12月24日に全線

開通すると発表。「3・11」後、同道路に防波堤の役割も持たせようとしていることを推進。当初2016年度の全線開通を見込んだが、一部に軟弱地盤であることが発覚、工期が2年ほどずれ込んだ。総事業費は約80億円。

## 群馬

### 車が駐車場に自動出入庫の実験

**前橋市** 11月20日、群馬大学（本部・同市。平塚浩士学長）は機械式駐車システム・メーカーの新明和工

## 埼玉

### 県内初！子供3人から国保減免

ふじみ野市 11月22日、同市は18歳未満の子供3人以上の世帯に対し、第3子以降の国保の減免措置を講じる旨を補足説明として発表、市議会の決議を経て2018年4月1日から施行される模様。同市の国保税は「所得割」「均等割」の2方式だが、内後者が対象で、医療分2万510円、後期支援分1万1000円の計3万6100円が減免される見通し。同施策は県内初で、対象者は約200人、減免額は約730万円。

## 東京

### 豊島区と無印良品が子育て連携

豊島区 11月21日、同区と「無印良品」を展開する良品計画（本社・同区。松崎暁社長）は、子育て世代の支援で「共闘」「FF（Female Family Friend）パートナーシップ協定」の一環で、同区に本社・店舗を構える企業とコラボし、町づくりで協働するのが狙い。「わたしらしく、暮らせ

るまち。」を基本コンセプトに掲げ、公共空間や遊休地・施設の有効活用やコミュニケーション・イベント・エリア・体験・教育プログラムの企画・実行、

ブランド・イメージ向上、子育てや次世代育成支援、食育、農育、自然

の「最前線」に。同敷地はこれまで社宅などに供されて来たが、現在は更地。市は今後、奉行所の復元などを念頭に整備を進める計画だ。

## 新潟

### 「忠臣蔵」のヒーローが里帰り

新発田市 11月26日、「忠臣蔵」

でお馴染みの赤穂浪士四十七士の人、同市出身の堀部安兵衛の遺骨が300年ぶりに「里帰り」、地元・長徳寺で納骨式が行なわれた。

四十七士随一の剣客だった安兵衛は19歳に江戸に向い、赤穂藩士として迎えられるが、1703年の吉良邸討ち入りの後切腹。以来、彼の亡骸は東京・泉岳寺に納められている。ちなみに長徳寺は安兵衛の生家・中山家の菩提寺。

## 神奈川

### 住友重機が浦賀奉行所跡を寄贈

横須賀市 11月28日、住友重機械工業（本社・品川区。別川俊介社長）が保有する浦賀奉行所跡地（約6700m<sup>2</sup>、地価は約4億円相当）の市への譲渡の申し入れがあつたと、同市は発表。浦賀奉行所はもともと下田奉行（静岡県）がルーツで、江戸中期、外国船の来航増加や国内経済

核施設、「マルス穗坂ワインリー」が完成、一般公開を開始。

市内に広大なブドウ畑を抱える同社は市が進める同計画に全面協力、敷地約1万3000m<sup>2</sup>、鉄骨2階建のワイン醸造棟と、同2階建ての

デジタルセンター（売店、ワインバーを設置）を建設、投資額は約6億円。

## 静岡

### パナソ工場壁面に巨大映像

袋井市 12月1日、パナソニック

（本社・大阪府門真市。津賀一宏社長）は、同市にある静岡工場の工場外壁（横45m×縦23m）を使い、プロジェクションマッピングで市観光PR映像を披露。

同社の「2018年創業100周年事業」の一環で、東海道新幹線からも眺望できることから、市による

コンテンツ協力のもと、徳川家ともゆかりの深い禅寺で、ひな祭りでも名高い名刹・可睡齋や、徳川家定が命名した「くし團子」で有名な法多山尊永寺、県内最大の花火大会など観光資源を中心に、華麗かつ迫力ある映像を平日夕刻に流す。

## 山梨

### “赤ワインの聖地”の拠点完成

韮崎市 11月28日、同市や地商工会議所、焼酎・ワインメーカーの本坊酒造（本社・鹿児島市。本坊和人社長）などが市内穂坂町で推進中の「赤ワインの丘プロジェクト」の中

数が急増したため、警備や安全航行、犯罪取り締まりを担う目的で浦賀に移転。ペリー来航以降は、外交交渉

が頻繁。ペリー来航以降は、外交交渉

# 長野

元交番を「お試し」オフィスに

**小布施町** 12月1日、ウェブサービスのMDパートナーズ(MDP)。本社・港区(星田洋伸社長)は、使用されていない交番(築43年)を改装したオフィスに入居、体験型のサテライト・オフィスとして1年間開設。同町が推進する既存公共施設の有効利用計画に応じたもので、地元特産栗、ハーブのお茶を商品化し、グループ企業のサプリメント会社を通じて販売する事業を模索する。ちなみに改装は住友不動産(本社・新宿区)、仁島浩順社長)が手掛け、改修費は約1200万円、内半分は地方創生推進交付金を使用。またMDPの入居は住不が仲介したもの。

# 岐阜

ローソンが高校生とパンを開発

**岐阜県** 11月28日、ローソン(本社・品川区)、竹増貞信社長)は県立大垣養老高等学校の生徒と共に開発したベーカリー「ザクザクメロネ」(税込140円)を中部地区限定(約

樽内の岩場を変更したりする。



「ザクザクメロネ」(ローソン)

1500店)で発売。同高校食品科学課の生徒6名からなる模擬企業「Bicom(バイコム)」とのコラボで、コロネにはメロンパン生地を使用、県産の飛騨高原牛乳を作ったクリームと細かいクッキーを詰め込んだ。

# 愛知

ウミガメ回遊水槽がリニューアル

**名古屋市** 12月2日、名古屋港水族館(同市港区)。公益財団法人名古屋みなと振興財団が運営。森俊裕理事長)は、南館の2~3階に設けられた「越中福岡の菅笠に『国のお墨付き』

**高岡市** 11月30日、同市福岡地区で古くから生産される「越中福岡の菅笠」が、国の伝統的工芸品に指定された。県内では29年ぶりの指定で6品目。江戸時代、加賀藩が奨励したものが地元のカサスゲを使って製造、現在は同市や砺波など周辺地域で年間約3万蓋(がい)を生産。

# 富山

大吟醸の酒粕使ったクッキー

**金沢市** 12月1日、食品・酒類卸



改修後のウミガメ回遊水槽イメージ(名古屋港水族館)

# 福井

福井鉄道に約30億円の税金注入

**福井市** 11月27日、赤字経営に悩むローカル線・福井鉄道(本社・越前市)村田治夫社長)に対し、国や県、福井、鯖江、越前3市が、2018年度から5年間、計約30億円の資金支援で合意。

同鉄道はこれまで国の鉄道事業再構築事業のもとで経営健全化を推進、年間利用者も10年前と比較して約40万人増の200万人超を果たしている。だがそれでも年間約6000万円の赤字で、同事業も2017年度で終了。今回の支援策はこれに代わるもの。5年後に同220万人を目指し、老朽化設備の刷新などに支援金を注入する。

のカナカン(本社・同市)吉田茂社長)は、純米大吟醸の酒粕を生地に加えた、ちょっと大人風味のチヨコレー風味クッキー「ショコラ大吟醸」を発売。日本酒メーカーの福光屋(本社・同市)福光松太郎社長)との共同開発で、芳醇な香りが特徴。価格は1箱(10枚入り)648円で、北陸地方のスーパーなどで販売。

三 重

## 国内最大級のレタス工場稼働

**名張市** 11月20日、パチンコ、焼肉レストランの晃商（本社・京都府中京区、新井義淳社長）は、同市に日本最大級のレタス工場「名張フーム」の完成式典を挙行。敷地面積約7200m<sup>2</sup>、総工費約11億円、発光ダイオード（LED）を駆使した完全密閉式の多段式水耕栽培施設で、世界最先端のクラウド型自動環境整備システムや先進的コンベア搬送システムを導入、加えて後継者のない耕作放棄地を積極活用し地域の活性化に寄与する点が特徴。

12月1日からオーレレタス（ブランド名「なばりーフ」）、小松菜など7品種、計1日40000株の出荷を当面維持、1年後には1日1万5000株、年商455億円を目指す。



「御所の郷（さと）」（御所市）

定を同市と締結。琵琶湖畔にある「しなあさひ風車村」（2016年4月から休止）の施設（約7.7ha）を再利用、宿泊用の木造キヤビン10棟やグランピングテント6張り、水上カフェ、広場などを設置する計画で、投資額は約12億円。宿泊料金は1泊1棟3万～4万円、年間利用者10万人を見込む。

京 都

## 元立誠小跡地にホテル開業

**京都市** 11月22日、京都市と立誠自治連合会は、施設運営のヒューリック（本社・中央区、吉留学社長）との間で、元立誠小学校跡地（同市近畿日本鉄道の関連会社近鉄リテールング（本社・大阪市天王寺区、中井潔社長）が受託。地元の魅力を発信する拠点に、と同市は期待。

興の販売所「御所の郷（さと）」を開店。瓦葺屋根にこだわった古風な木造家屋を髣髴させる建物（鉄骨造り）が特徴で、床面積約650m<sup>2</sup>、総事業費は約2億円。運営・管理は近畿日本鉄道の関連会社近鉄リテールング（本社・大阪市天王寺区、中井潔社長）が受託。地元の魅力を発信する拠点に、と同市は期待。

滋 賀

## 市の休遊地に巨大グランピング

**高島市** 11月21日、都市開発コンサルタント事業の光亜興産（本社・大阪府門真市、川村光世社長）は、同市に大規模な豪華キャンプ施設

1階部分はカフェや物販店舗を置き、上にはホテル（部屋数約200室）、下1階）建設、旧校舎も含め2階以上にはホテル（部屋数約200室）、

和 歌 山

## 南紀白浜空港が民営化向け発進

**白浜町** 12月4日、同市にある県営事業者公募説明会が開催。同空港の便数は現在、羽田便1日3往復のみで、ピーク時に年間16万人だった

20年の開業を目指す。

大 阪

## 関西初の都市公園活用した保育園

**豊中市** 12月1日、市内の公園「ふれあい緑地」敷地内に、認可保育園認可保育所「トレジヤーキッズふれあい緑地保育園」が開園。都市公園内の保育園設置は関西初。大都市圏で保育園を新設する場合、まとまる土地が得にくく、また確保には莫大の費用が掛かる。このため既存の公園の一部を流用する案が脚光を浴びている。同公園は13haと比較的広く、内約500m<sup>2</sup>を“拝借”、定員80名（内0～5歳児31名）の保育所が誕生した。なお、運営は人材派遣・保育事業のセリオ（本社・大阪市北区、若浜久社長）が担当。

**京奈和道のPAに古風な販売所**

**御所市** 11月17日、同市は市内に完成した京奈和自動車道・御所南パーキングエリア（PA）に、地域振

「グランピング」施設を構築する協

その他の図書館や自治会・多目的スペース（映画上映可能）なども確保、また校庭の相当部分はオープンスペースとして存続させるというものの、2018年春には工事に着手、20

利用客は、2016年に12万人弱にまで減少。レストランなどが入るターミナルビル第二セクターが運営は黒字だが、空港全体では維持管理・整備費用が嵩み、年間約3億円の赤字経営が続く。民活による収益アップで県の負担を軽減するのが狙い。

2018年5月までに優先交渉権者を選定、2019年4月には民営化に移行（運営権は最低10年）。したいに論見だ。

## 兵 庫

### 味覚糖が県警とコラボのグミ

兵庫県 11月4日、UHA味覚糖

（本社・大阪市。社長）は兵庫県警

とコラボ、発売中の脂肪分ゼロ・グミ「忍者めし」シリーズ姉妹品、「ボリスめし」を発売。県警の持ち込み企画で「脂肪ゼロ」と「死亡（事故）ゼロ」をかけたアイデア商品。女性警察官、検問中の警察官、白バイ隊員の3種のパッケージ・デザインを用意、それぞれ「チャイルドシートの非着用」「飲酒運転」「スピードオーバー」ゼロを込める。価格は1袋100円で県内産レモンを使用、県内のスーパー、コンビニなどで販売。

## 岡 山

### 特産“ごんぼう”的ブランド化

井原市 11月20日、イオンリテー

ル（本社・千葉市。岡崎双一社長）

は、同市の地域特産品である「明治ごんぼう」のブランド化に向けて同市と連携、「明治ごんぼう振興協議会」を設立した。これは同市商高約400mの赤土畑で生産されるゴボウで、柔らかく、濃厚な香りが特長。同社は今後、同県内や隣接県を中心

にイオン系列店で重点販売を実施。2012年に県と同社が締結した包

## 広 島

### ナンバープレートに「カープ坊や」

福山市 11月27日、同市や尾道市

など県東部の5市3町は、広島東洋

カープのキヤラクター「カープ坊や」

とコラボしたナンバープレートのデザインを発表。カラー版とモノトーン版の2種類で、セ・リーグ連霸を果たしたカープの盛り上がりを地域活性化に生かすのが狙い。国の審査を経て2018年10月頃から交付を

## 島 根

### 宍道湖シジミの資源量が増加

島根県 12月7日、同県は10月に

調査した名産・宍道湖のヤマトシジミの資源量が、平年の約5万1000tを大きく上回り約6万9000tを記録したと発表。1998年の

調査開始以来4番目の高水準で、県水産技術センターは、今夏の塩分上昇に伴うプランクトン増加が理由と分析。

## 鳥 取

### ポケモンGOの経済効果18億円

鳥取市 11月30日、同県は11月24

～26日に鳥取砂丘を舞台に開催された、スマートフォンゲーム「ポケモンGO」のイベントでの経済効果が、

当初目標の4億円を大きく上回り18億円に達したと発表。同時に参加者は同県の想定の約3倍、9万9000人で、地元交通機関の乱れも発生したと嬉しい悲鳴も。同県では、今後民間企業とも連携し、持ち前の砂丘を「スナホ・ゲーム解放区」と位置づけ、引き続き観光資源の主力として活用していく方針。

利用客は、2016年に12万人弱にまで減少。レストランなどが入るターミナルビル第二セクターが運営は黒字だが、空港全体では維持管理・整備費用が嵩み、年間約3億円の赤字経営が続く。民活による収益アップで県の負担を軽減するのが狙い。

2018年5月までに優先交渉権者を選定、2019年4月には民営化に移行（運営権は最低10年）。したいに論見だ。

## 山 口

### 東ソーラー子会社が新工場

周南市 11月8日、分析機器・医療用検査機器メーカーの東ソーラー

イテック（本社・同社。相本英樹社長）は、本社工場（福川工場）隣接

地に新工場を建設、工場面積を倍増させる計画を発表。糖尿病やがん検診用検査機器などの販売が欧米で好調なことに加え、今後アジアでの需要も見込まれることから生産体制を強化するのが狙い。投資額は約13億4000万円で、建築面積は約4300m<sup>2</sup>。2020年7月操業予定。



「カープ坊や」をあしらった福山ナンバー案（福山市）

## 香川

018年度内に同県内自治体での導入を目指す。

## 観光列車で四国をぐるり

**高松市** 11月27日、JR四国（本社・同市、半井真司社長）は、観光列車を乗り継いで四国4県を巡るツアーアー「四福の物語」の販売を発表。

同社が観光列車を何本も使ってツアーや企画するのは初。「四国まんなか千年ものがたり」「志国高知幕末維新号」「伊予灘ものがたり」などを乗継いで4県を周る。2泊3日、3泊4日のプランがあり、料金は1人各12万5000円、17万5000円より。

## 橋梁の点検にドローンを活用

**松山市** 11月15日、愛媛大学（松山市）は、ドローンやロボットを使用した橋梁点検の実証実験の実施を発表。同実験では、国道11号の新横河原橋で、ロボットやドローンに搭載した小型カメラを使用、コンクリートなどの損傷状況を調査。今後、近接目視が基本の橋梁検査の調査期間短縮と省力化の実現を目指に、2

## 愛媛

列車を乗り継いで四国4県を巡るツアーアー「四福の物語」の販売を発表。同社が観光列車を何本も使ってツアーや企画するのは初。「四国まんなか千年ものがたり」「志国高知幕末維新号」「伊予灘ものがたり」などを乗継いで4県を周る。2泊3日、3泊4日のプランがあり、料金は1人各12万5000円、17万5000円より。

**那賀町** 同町はふるさと納税の返礼品として、12月1日から日本郵便が10月に始めた「みまもりサービス」の提供を開始。同サービスは、月1回ふるさと納税を行なった人が、指定した家庭に郵便局員が訪問、30分の会話を通じて、主に高齢者の近況を記録し、離れて暮らす家族にメールで報告するもの。同町は、高齢化が進み65歳以上の住民の4人に1人が独居世帯。今回の返礼品を通じて、高齢者と県外家族との繋がりを深めてもらうのが狙い。

## 高知

の会話を通じて、主に高齢者の近況を記録し、離れて暮らす家族にメールで報告するもの。同町は、高齢化が進み65歳以上の住民の4人に1人が独居世帯。今回の返礼品を通じて、高齢者と県外家族との繋がりを深めてもらうのが狙い。

**返礼品は「高齢者見守り」**  
那賀町 同町はふるさと納税の返礼品として、12月1日から日本郵便が10月に始めた「みまもりサービス」の提供を開始。同サービスは、月1回ふるさと納税を行なった人が、指

定した家庭に郵便局員が訪問、30分の会話を通じて、主に高齢者の近況を記録し、離れて暮らす家族にメールで報告するもの。同町は、高齢化が進み65歳以上の住民の4人に1人が独居世帯。今回の返礼品を通じて、高齢者と県外家族との繋がりを深めてももらうのが狙い。

## ダバオ市と環境姉妹都市に

**北九州市** 11月28日、同市はフィリピンのダバオ市と環境姉妹都市提携を締結。同市の環境姉妹都市提携は、インドネシア・スマラバヤ市との締結以来、約5年ぶりで2回目。主に、市民へのごみ分別指導などの啓蒙活動や、廃棄物発電施設の導入について連携。経済発展に伴う人口増加でごみ処理問題が深刻化するダバオ市を、今後環境分野からサポートする。

## 福岡

同方式では、問題のバリエーションを増やせる上、大量の解答を一瞬で処理できる。同大学は今後他学部の入試にも導入していく方針。

画面に表示された問題を受験生が指でタッチし解答を選択すると、瞬時に採点。間違えた問題については、解説が表示され、その後類似問題を解かせ、受験生の学習能力も検証する。

今回の実証実験では、エクスマメディオが誇るシステム「ヒポクラ」を町立椿原病院に導入し、医師同士での情報共有や、専門外の症状についての導入を目標とする。

都市部の専門医から助言を受ける。今後、患者の各種データを収集分析し、遠隔地における患者、医師両者の負担を軽減させる医療用AIの開発に活用する方針。

同市。宮崎耕治学長）は、理工学部と農学部の推薦入試で、タブレット端末を使った入試を実施。大学入試でこの方式を採用したのは全国初である。

**AIを活用した遠隔医療実験**  
橋原町 11月21日、医療情報関連のエクスマメディオ（本社・高知市。物部真一郎代表）と、みずほ銀行（本社・千代田区。藤原弘治頭取）は、医療用AI（人工知能）の実用化に向け、同町と包括連携協定を締結。

## 佐賀

**佐賀大が全国初のタブレット入試**  
佐賀市 12月1日、佐賀大（本部・



ユーチューバーが資本業務提携を行なったORC（ユーチューバー）

長崎

熊本

350tの出荷を見込む。

鹿兒島

組む。2020年頃の就航を目指す。

繩本島側約6800m<sup>2</sup>で、鉄筋コ

ユーブレナ、航空会社と資本提携

大村市 11月29日、ユーラシア(本

コミニティエフエムが開局  
12月3日、同市を中心

曾於市  
11月28日、物業（煮豆）  
**ヤマザキが発酵促進剤の新工場**

あり、全340室総てがバルコニーつきのオーシャンビューが特徴。

観光情報や災害情報を発信する、コ

タルエアブリッジ(ORC<sup>®</sup>)本社・  
同市。日野昭社長)は、資本業務提

ミニユニアリーフィルム放送局 あまくさ

メーカーのヤマザキ（本社・静岡県  
吉田町。山崎朝彦社長）は、土壤改  
良資材を安定的に製造する新工場を

恩納村は同ホテル進出に瀬良垣島と本島とを結ぶ道整備事業を実施。

燃料による有償フライトの実現を目指に掲げており、ORC社が運行する同県離島を結ぶ航空路線への燃料供給について協力を進めると共に、離島振興事業についても連携して行く方針。

**新カーフエリー会社が船出**  
11月20日、同市は県や、

投資予定額は2700万円で、2018年3月に操業開始予定。

レーション（本社・米国イリノイ州シカゴ・マーク・ホプラメジアン社）を選んだ。

## 独自品種のイチゴ「ベリーツ」

支援機構」、地元企業が総額約11億

新ビーチリゾート  
恩納村  
12月6日、ホテル運



「ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランド沖縄」のイメージ図(東急不動産)

大分市 12月6日、同県は8年の月日を費やして品種改良を行ない開発したイチゴの独自品種「ベリーツ」を発表。

「ベリーツ」はストロベリーとスイーツを合わせた造語で、従来品種と比べ、高糖度で日照時間の短い冬でも鮮やかな赤色に育つ。本格出荷1年目の今季は、約1haで栽培、約

「支援機構」、地元企業が総額約11億5000円を出資して新会社を設立既存の「宮崎カーフエリー」が運行していた神戸—宮崎航路を引き継ぎ運営すると発表。新会社名は、旧来と同様「宮崎カーフエリー」を継承し、昌崎銀行（本店・同市・平野亘也頭取）や宮崎太陽銀行（本店・同市・林田洋二頭取）の融資を受け、新船の購入計画や燃費の向上などに取り組んでいた。

恩納村 12月6日、ホテル運営会社の瀬良垣ホテルマネジメント（本社・同村、速川智行社長）は、2018年8月にフルサービス型のラグジュアリーリゾートホテル「ハイアットリージェンシー瀬良垣アイランード沖縄」を開業すると発表。ホテルは沖縄本島と瀬良垣島に分かれ、延床面積は約3万8200m<sup>2</sup>、沖縄（瀬良垣島内約3万1400m<sup>2</sup>、沖

An aerial black and white photograph of a large hotel complex. The main building is a long, low-profile structure with multiple wings and a central entrance. It is surrounded by a landscaped area with trees and pathways. A curved walkway or bridge connects the main building to a smaller, more modern-looking section. The complex is situated on a peninsula that juts out into a body of water. In the background, there are other buildings and what appears to be a city skyline under a clear sky.

2018. 1 ●月刊公論 58